



雨の日の過ごし方



今週は、まさに梅雨の1週間となりました。読書週間は終わりましたが、教室で自分の借りている本を紹介したり、自分で作った本を読み聞かせしたりと、「本」を介して楽しむ様子がたくさん見られました。雨で外に出られなくて残念な気持ちも、自分たちで楽しさを見つけて、雨の日を楽しむ子どもたちの姿にこちらまで笑顔になる毎日です。

来週からは、7月に入ります。1日(火)のスポーツ活動奨励事業では、藤井夢人先生(Remake)に、水遊びの楽しさや泳ぎ方のコツを教えてください。7月のプール学習も、ますます楽しみです。

読み聞かせ<6月16日(月)から>



読書週間後半、水曜日は松本教頭先生が「ライオンのくのにのネズミ」、木曜日に中務先生が「たった2℃で」を読んでくださいました。どちらも、今年の読書感想文コンクールの課題図書です。考えさせられる内容にも、子どもたちなりの感性で楽しんでいました。金曜日には、岸戸さんが、「あさになったのでまどをあけますよ」「14ひきのあさごはん」「へんしんトンネル」と、趣の異なる本を読んでくださいました。どの本も、子どもたちはもっとよく見ようと自然と体が前のめりになるほどおもしろかったようです。どの子の顔も笑顔でいっぱいでした。改めて、本の楽しさ、奥深さを感じるこのできた一週間でした。



学校巡回公演<6月19日(木)>



子どもたちに大人気の「シェー!」今も昔も子どもの心をわしづかみですね。



舞台の下には、ラーメン屋台が時折現れます。ここでのお話が気に入った子もいました。



千屋小学校4・5・6年生も劇に出演し、演技がとっても素敵でした。



千屋小学校で、劇「トキワ荘の夏」を鑑賞しました。開演前には、体育館に設置された舞台のせり出しや照明に興味津々で、あれはどう使うのだろうと不思議顔の子どもたち。また、千屋小学校の2・3年生と自己紹介もしあってミニ交流もしました。

劇は、随所に「シェー!」や漫画の描き方紹介もあり、子ども達も時折笑い声をあげながら楽しんで観ていました。少し前から練習してきた劇中歌「まんが夢の翼」もばっちりと歌い上げることができました。

劇を観る前には、「プロの劇団員さんの技を盗もう!」という話をしました。国語の時間に行う表現活動や学習発表会での劇など、今後の子どもたちに、たくさんのヒントをくれた時間となりました。